

330 中央大学代議士招待会

〔『法学新報』第23巻3（262）号 大正2年3月4日〕

○代議士招待会 年年の例に依り中央大学に於ては去月二十日

を以て貴衆両院議員たる學員諸氏の招待会を日本倶楽部に開催したり当日は午後五時來賓の到るを待ち先づ柳家小さんの落語の余興を開始し滑稽百出して笑声堂に満ち喝采声裡に演了して宴に入り主客杯を挙げて閑語談笑漸く盛なる頃伊藤理事は学長に代りて一場の挨拶を為し土方博士の發議により來賓は答辭に代へて各自五分演説を為すことと為り花井、田中、野村、岡田、太田、横田、加瀬、黒須、秋田、田中、岡野諸氏交々起て所感を述へ主客歓談に時を移して散会したり此日は生憎にも新内閣成立当日にして奥田、元田の二氏を始め或は榮職に就かれ或は政党の交渉に忙はしき等の事故頗る多くして何時になく欠席者の多かりしは遺憾なりし